

至誠館大学

科目名	特別活動の理論と方法			コード			
英語表記							
担当教員名	貞末 俊裕			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義・演習	授業形式		履修形態	教職		
授業概要							
特別活動の目標と内容、教育的意義、集団活動を通して培われる自主的・実践的な態度等を理解する。児童生徒にとって魅力的な特別活動について考察し、実際に活動計画を作成する。前半は講義形式で行い、後半は講義内容にも基づいたグループワーク形式で行う。							
到達目標							
学習指導要領の沿って、特別活動の目標と各活動・学校行事との関連が理解できる。 特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連が理解できる。 具体的な指導計画を作成し発表することができる。							
授業計画							
第1回	特別活動の概要と教育課程上の位置付け等について概説する。						
第2回	特別活動の目標と各活動・学校行事との関連について概説する。						
第3回	特別活動の基本的な性格、教育的意義、内容相互の関連について考察する。						
第4回	特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連について考察する。						
第5回	学級活動の目標や内容、指導計画の作成と内容の取扱い等について考察する。						
第6回	児童会活動や生徒会活動の目標や内容、指導計画の作成と内容の取扱い等について考察する。						
第7回	クラブ活動と部活動の目標や内容、指導計画の作成と内容の取扱い等について考察する。						
第8回	学校行事の目標や内容、指導計画の作成と内容の取扱い等について考察する。						
第9回	グループワーク(1): 望ましい人間関係づくりを築くための指導計画を作成する。						
第10回	グループワーク(2): 学級内の組織づくりや仕事の分担処理に関する指導計画を作成する。						
第11回	グループワーク(3): 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成に関する指導計画を作成する。						
第12回	グループワーク(4): 学ぶことと働くことの意義や理解に関する指導計画を作成する。						
第13回	発表(1): グループワークの成果を発表し、全員で発表内容について協議・評価する。						
第14回	発表(2): グループワークの成果を発表し、全員で発表内容について協議・評価する。						
第15回	まとめ: グループワークの発表内容や協議について講評し、特別活動の目的を確認する。						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
評価方法: 授業のまとめ、グループワークの成果 評価基準: 特別活動の目標と各活動・学校行事の内容が理解でき、具体的な指導計画が作成できる。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10	40	40	10
授業外学習			テキスト、教材				
			「中学校学習指導要領解説 特別活動編」文部科学省				
参考書			受講生へのメッセージ				
キーワード							